

朝日新聞

2012年(平成24年)
3月17日
土曜日

夕刊

スポットライト

「鉄の女」を演じてアカデミー賞に輝いた女優メリル・ストリープさん。「この映画は、人間のありようを描いた詩です」 2面



作業の潜水土3人死亡 13面

芸能2面
小説2面
響紀行3面/Do5面
惜別6面/週間株式7面
総合9面/スポーツ11面
お知らせ11面
TV・ラジオ9・14面

朝日新聞 DIGITAL
充実の記事と機能
PC・iPad・iPhone
アンドロイド端末で
digital.asahi.com

朝日新聞大阪本社
発行所: 〒530-8211 大阪市北区中之島3-2-4 電話: 06-6231-0131
www.asahi.com

小学生～大学受験
駿台個別指導
家庭教師 通学型個別指導
完全マンツーマンの春期講習
Spring1 受付中
駿台個別教育センター
0120-142-509
http://www.sundai-kobetu.co.jp
京都校(堀川丸太町)・京都駅前校・上本町校・大阪校(緑地公園)・茨木校(JR茨木駅)・なかもず校・西宮北口校・神戸校(三ノ宮)

賢治の故郷復興芽吹け

東日本大震災からの復興を願って、宮沢賢治ゆかりの梨の木が、賢治のふるさと岩手県の学校に贈られる。絶滅が危ぶまれる岩手自生の種で、震災前から保存に取り組んでいた神戸大が企画。最初の苗木が21日、大槌町の吉里吉里小学校など3校で子どもたちの手によって植ええられる。



賢治の童話「やまなし」に登場するイワテヤマナシは、2007年版の環境省レッドリストで絶滅危惧種
イワテヤマナシの花と実 (片山さん提供)



童話「やまなし」の苗木贈呈 神戸大、岩手23校に



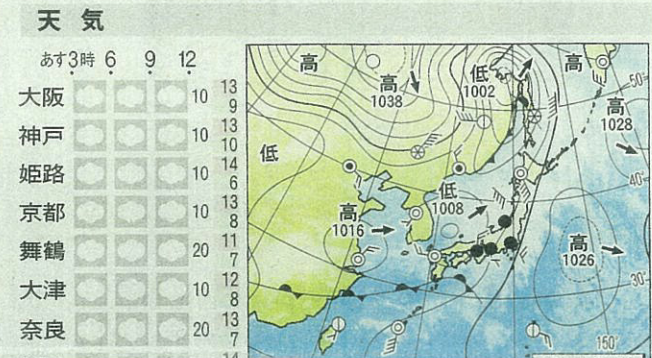
片山寛則さん

東北の北上山系に自生し、初夏から秋にかけてピンポン球ほどの実をつける。辺りに広がる甘い香りが特徴だ。賢治は童話の中で、月あかりの川の水中が、流れてきたやまなしのいい匂いでいっぱいになり、蟹の親子が幸福感に包まれるさまを描いた。

プロジェクトを企画したのは梨の専門家の神戸大学院農学研究科講師の片山寛則さん(46)。1999年から岩手県で調査を進め、イワテヤマナシの存在を知る人は少なくなっている。岩手の宝を再発見し、復興のシンボルとして育てていただけ「たら」と片山さんは願う。(日比野容子)

自生地を特定。純粋種は100本ほどしか現存しないことを突き止め、兵庫県加西市にある大学付属の農場で、接ぎ木により保存する取り組みを進めてきた。 「岩手の貴重な資源をいいただき、研究させていたただいている」。被災地の惨状が明らかにするにつれ「恩返しをしたい」という思いが募った。 昨年4月に接ぎ木した苗木は1歳ほどに成長。三陸沿岸にある小中学校、特別支援学校を訪ね苗木の提供を申し出た。今月末までに受け入れが決まった23校に55本を贈る。 童話「やまなし」は小学6年生の国語教科書に採用されている。しかし、岩手県内でもイワテヤマナシの存在を知る人は少なくなっている。岩手の宝を再発見し、復興のシンボルとして育てていただけ「たら」と片山さんは願う。(日比野容子)

素粒子
首領様に届けとばかり3代目がミサイル打ち上げ。民衆には、もらいもののビスケットすら届かなくなるのかも。
☆ 金満打線と貧乏打線の戦いだと思えば、どちらを応援する？ 札束でファンの心までは買えないスポーツの世界。
☆ 北へ向かう夜汽車に乗れば人はみな詩人になった。「日本海」が最後の旅を終える。旅情という言葉がまた遠く。



やまなし(抜粋)

そのとき、トブン。 黒い円い大きなものが、天井から落ちてずうつとしづんで又上へのぼって行きました。キラキラと黄金のぶちがひかりました。 「かはせみだ」子供らの蟹は頸をすくめて云ひました。

お父さんの蟹は、遠めがねのやうな両方の眼をあらん限り延ばして、よくよく見てから云ひました。 「さうぢやない、あれはやまなしだ、流れて行くぞ、ついて行つて見よう、あゝ、いゝ匂ひだな」 なるほど、その月のあかりの水中は、やまなしのいい匂ひでいっぱいでした。 三足はほかほか流れて行くやまなしのあとを追ひました。(ちくま文庫「宮沢賢治全集8」から)